

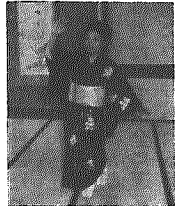
写真・市村ヨイさん

横越小唄の踊り方

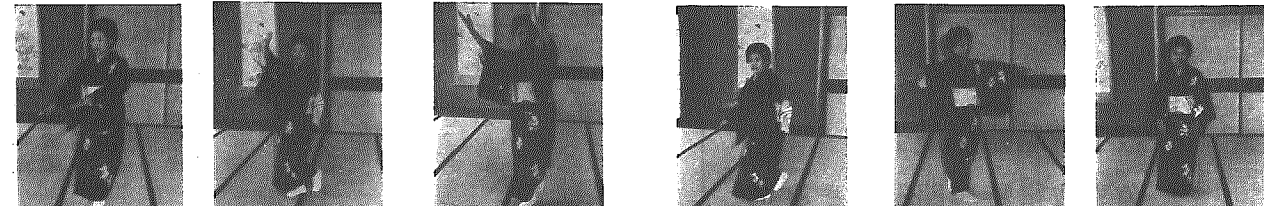
- ① 前奏16間呼吸して。
② 右足出して、両手山開きにし。
③ 出した足引いて、チェクションがチェン。



④ 五頭のナー (4~5) 右足ふんで右足スタンプ、両手胸前より、上下に開き



⑤ 左手そのまま、右手の手首を上げてかざしてながめる



- ⑥ 五頭のお山の (左反対動作)
⑦ 朝日に映えてヨー
⑧ 色も見事なチューリップ
⑨ 市場出そうか一日待とか
⑩ 花はまだまだー
⑪ エーおちよぼ咲き

横越小唄は、本間先生のピアノの伴奏で、横越小唄童一九人が元気に合唱し、はじめて村民の前に披露。村民謡連盟の人たちも、地方同志会の三味線、太鼓、尺八に合せて唄と、市村ヨイ社中が振り付けた踊りを発表しました。

Musical score for 'Yokoyoshi' with lyrics and musical notation.

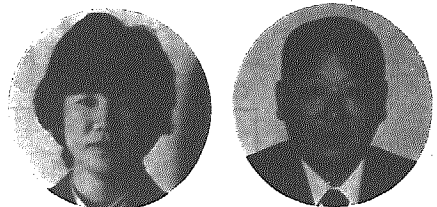
横越小唄の制作にあたった田村文化協会会長は「小唄が盛んに唄われ、踊られることは、村民のコミュニケーションができて、明るい村、村の発展につながる、民謡連盟を通して、横越小唄の普及につとめたい」と話していました。



小学生が高らかに発表

俺が村の横越小唄

村文化協会 村民にうれしいプレゼント



作曲家 本間綾子さん 作詞者 坪谷十九一さん

民謡熱が高まる中で、村文化団体協議会(田村忠雄会長)は、新民謡「横越小唄」を制作、二月十二日横越村公民館で発表会を行ない村民に大きなプレゼントをしました。

から坪谷十九一さん(木津)の作品が選ばれ、これに横越出身の新潟市在住の横越南開発(南開)が補作、作曲を横越中学校の音楽の先生本間綾子さんに依頼。発表会には、浅見村長、石塚県議ら来賓や村民一〇〇人余りが参集しました。

Lyrics for 'Yokoyoshi' with numbered sections 1-4.



- ⑫ エーおちよぼ咲き
⑬ 左足出して、両手上にあげ、右足出して、両手おろす。
⑭ 左足出して、腰を少しおろしてあげみ丸。
⑮ ホンニソラソラ、ヨイトコラシヨ
⑯ 俺が横越、ヨイトヨイトコラシヨ
⑰ 両手ふりかえ 四回する。

農地の貸借 便利で安心な 農用地利用増進事業で

昭和五十九年度農用地利用増進事業の農地貸借前期受付を次のとおり行います。この制度は、共働きなどでどうも農業経営がうまく行かず農地を貸したいとか、ヤミ委託をしているので将来耕作権等でなんと不安があるなどといった方々のために安心して貸付・借受できる制度です。その他売買等も行っています。

Table with columns: 新規の貸付要件, 更新(再設定)の貸付要件, 交付要件等

貸付者には、下表のとおり奨励金が交付されます。詳しくは、農業委員会または、お近くの農業委員会にお尋ねください。
受付期間 三月一日から二〇日まで
申込み先 横越村役場経済課
登録台数 20台
登録有効期間 3月下旬に抽選予定
登録有効期間 59年4月1日~
手数料 一件一〇〇円

お年寄りとの心の健康 No.8

老年期は「余生」ではない
老年期は、わたしたちがこの世に生まれてきた「価値」を最大限に発揮する時期です。決して「余生」といった蛇足のような存在ではありません。
もちろん、食生活に気を配り、健康に留意することも、人生を楽しむことも、人生にとって大きな意味を持っています。しかし、それにも増して大切なことは一回きりの人生を最大限に活用すること、自分にとって生きがいとは何だろうか、いま一度、自分自身に問いかけること、そして、充実した老年期を過ごすことではないでしょうか。
だれにも奪われないもの
「生きることの価値」などというたいへん難しいことのように考えられるかもしれませんが、考えようによつては、とても簡単なことなのです。
ある老人ホームで、お彼岸の日に、おばあさんがお線香をたいているのを見かけました。そのおばあさんにとっては、ご主人のための用いをするのが生きがいであり、心の支えになっているのです。おばあさんの亡くなったご主人に対する心は、だれにも絶対に奪うことのできないものです。この「絶対にだれにも奪われないもの」こそ、それがその人の心の支えであり、生きがいにはほかならないのです。それは人によつては信念であったり、やさしさであったり、だれかを愛する気持ちであったりあるいは物ごとに対する心であったりするかもしれません。
充実した生活を心がけよう
老年期は、それまで大切にしていた社会的地位や友人、家族などを次々に失ったり、あるいは疎遠になったりします。こうしたことから、生きていくことに心の張りを感じなくなつて、心の病にかかったり、無為に日々を送っているお年寄りが少なくありません。そうならないためには、自らの生きがいを再点検し、人生の集大成を目指して、日々、充実した生活を送るよう心がけたいものです。